

クラスの様子【5月号】

●ひよこ組 今月の目標 保育士やお友達と安心感を持って関わる。

4月は慣らし保育もあり早く帰ることも多かった子ども達ですが、どの子も泣いてしまったり不安定になってしまうようなこともほとんどなく、とてもスムーズに保育園の生活に入っていくことができていました。保育士やお友達に笑顔を見せてくれることも多く、保育士が側にいると安心して自分だけでしっかりと一人遊びができた、お友達同士見つめ合ったり関わり合うような姿もたくさん見られました。また、4月はりすぐみが8人、ひよこぐみが3人という少人数でスタートできたお陰で、りすとひよこで一緒に活動したり遊ぶ機会を多く持つことが出来ました。人数が増えて賑やかに生活(活動)できたことに加え、0歳と1歳の異年齢と一緒に生活できていることで、りすぐみの子にとっては年下の子がいることを意識して行動できたり、人のお世話をする楽しさを知り、ひよこぐみの子にとっては目や耳から入る刺激が多かったり模倣が増えたりと、両方のクラスの子もたちにとってとても良い環境になっているように感じられます。3人のお友達でスタートしたひよこぐみですが、5月からは1人新しいお友達に加わり4人で生活していくことになります。これから毎月少しずつお友達が増えていく形にはなりますが、今のようなゆったりとした環境を大切にしながら毎日を過ごしていけるようにしたいと思います。(安田)



●りすぐ組 今月の目標 自然に触れながら戸外でのびのびと身体を動かして遊ぶ。

りすぐみになって1か月が経ちました。1つ大きくなり、新しいお友だちも増え、毎日元気いっぱい過ごしています。ひよこぐみとの共有のコーナーもあり、一緒に遊ぶ中でお兄ちゃん・お姉ちゃんとしての意識も少しずつ出てきているようです。活動では、春の心地よい気温の中、たくさんお散歩にも出かけました。タンポポやテントウムシなど春の自然に触れながら、たくさん身体を動かして遊んでいます。また、電車に興味を持っているので、乳母車を1号車・2号車と連結させ、電車に見立て「ポキポキ広場駅」「わんわん駅」など見慣れた場所に名前をつけながらの散歩も楽しんでいます。出発の笛を鳴らし、「がたんごとん」と言いながら走り、道を渡るときには「カンカンカン」と遮断機の音を再現しています。これからも子どもたちの思いを聞きながら遊びを広げていきたいと思っています。(平塚)



●うさぎ組 今月の目標 保育士や友達と関わる中で安心して過ごす。

うさぎ組での生活が始まって1か月が経ちました。朝も笑顔で「おはよう」と登園してきてくれる子の姿がたくさん見られるようになり、朝から元気いっぱい園庭で遊んでいます。戸外では植物や生き物に興味を持ち「ダンゴムシおった」「ありいっぱいおる」と友達同士での会話も見られるようになり、たくさんの自然に触れ春の季節を感じています。散歩先で摘んだお花をお散歩バッグに入れてお部屋に持ち帰り、自分たちで花瓶に入れて机に飾ったり、自然コーナーではお散歩先で見つけたカニを飼育しています。朝登園すると「カニは？」と一番にカニを見に行ったり、「ごはんあげる」とみんなで大切に育てています。これからもたくさんの自然に実際に触れることで生き物を大切にすることや命があるということを感じることができたらなと思います。また手洗いや排泄などいろんなことを自分でやってみようとする姿が見られるようになり、それぞれのペースで意欲的に頑張っ取り組んでいます。今後も自分でやってみようという気持ちを大切に、必要に応じて援助しながらあたたかく見守りたいと思います。(鈴木)



クラスの様子【5月号】

●さくら、くぬぎ、とちのき組 **今月の目標** 色々な遊びの中で十分に体を動かし、友達の良さに気付いたり、一緒に活動する楽しさを味わう。

(年少) 新クラスが始まって1ヶ月が経ちました。年少組の子ども達はうさぎ組から幼児クラスになり、初めての環境で少し緊張したり、新入園児はお家の人と離れての新しい環境で初めは寂しかったり、不安で泣いてしまったりという姿がありました。毎日登園する中で同じクラスの保育士や周りの友達とやりとりをしたり、関わっていく中で徐々に表情も和らいで、今では笑顔で過ごしている姿が見られるようになりました。また、異年齢クラスになり、困っていると年中・年長の子たちが優しく“こうやってやるんだよ”“一緒にやろうか？”と声をかけてくれている姿をたくさん見かけます。給食の時、お汁をこぼしてしまった時に雑巾で床を拭いて綺麗に洗って絞ることを年上の子について行って、一緒に見たりなど目で見て、やってみるなど年上の友達からの刺激はとても大きく大切だと感じました。



これからも何度も同じ経験を積み重ねたり、色々な人と関わる中でゆっくりと元気に園生活に馴染んでいってくれると嬉しいなと思います。(渡辺)

(年中、年長)

新年度がスタートして1ヶ月が経ちました。年中、年長児は進級して、ひとつ大きくなった嬉しさを感じ、年下の子と積極的に関わったり、困っている子に優しく声を掛けて助けてくれる姿があります。昨年度は異年齢児クラスで一番小さかった年少の子が年中になり、初めての集団生活で不安でいっぱいの新入園児に「この本一緒に見よ！」とお気に入りの絵本を差し出し、朝出迎えてくれていました。今まで年上の子に優しくしてもらったことを、こうして次は同じように年下の子にしてあげる姿を見てとても嬉しく感じました。



選択活動では、いろんな活動を自分で選び、お散歩に出掛けて集団遊びをしたり、園庭の遊具で遊んだりと戸外で伸び伸びと身体を動かしています。年長児は、昨年度のライオン組のお兄ちゃんお姉ちゃんがしていた大縄跳びや鉄棒での逆上がりにも挑戦しています。お兄ちゃんお姉ちゃんがしていることに刺激を受けたり、憧れを持ちこれからも色々な事に挑戦していけるといいなと思います。(坂)

